

資料 No. 3

山梨県地球温暖化対策実行計画  
の 実 施 状 況 に つ い て

環 境 創 造 課

## 2009（平成21）年度 山梨県の温室効果ガス排出量について

- 本県の2009年度の温室効果ガス総排出量は、681万2千トン（我が国全体の排出量（12億900万トン）の0.6%）で、前年度比では4.0%減、京都議定書基準年（1990年（平成2年））比では12.5%増であった。
- ただし、森林吸収源対策による二酸化炭素吸収量77万2千トンを除くと、604万トンとなり、基準年比で0.2%減となった。
- 前年度に比べて排出量が減少した原因としては、2008年度後半の金融危機の影響による景気後退に伴うエネルギー需要の減少が2009年度も続いたこと、原子力発電所の設備利用率の上昇等に伴い電力排出係数が改善したことなどが挙げられる。

本県の温室効果ガス排出量の推移

(単位：千t-CO<sub>2</sub>、%)

温室効果ガスの種類	1990 (H2) 基準年	2003 (H15)	2004 (H16)	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	基準年比	前年度比
二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	5,730	7,530	6,635	6,664	6,405	7,101	6,694	6,457	12.7	△ 3.5
メタン(CH <sub>4</sub> )	60	41	41	38	38	35	35	35	△ 41.7	0.0
一酸化二窒素(N <sub>2</sub> O)	108	113	113	151	152	145	143	145	34.3	1.4
ハイドロフルオロカーボン(HFCs)	18	69	70	53	93	109	124	141	683.3	13.7
パーフルオロカーボン(PFCs)	41	62	68	49	98	95	77	25	△ 39.0	△ 67.5
六ふっ化硫黄(SF <sub>6</sub> )	97	37	39	28	28	26	25	9	△ 90.7	△ 64.0
温室効果ガス総排出量	6,054	7,852	6,966	6,983	6,814	7,511	7,098	6,812	12.5	△ 4.0
森林吸収源対策分	-	-	-	-	-	-	-	△ 772	-	-
温室効果ガス総排出量 (森林吸収源対策含む)	6,054	-	-	-	-	-	-	6,040	△ 0.2	-

※排出量算定の基礎となる「都道府県別エネルギー消費統計」が遡及改定されたことにより、既に公表している排出量についても再計算し、数値を修正した。

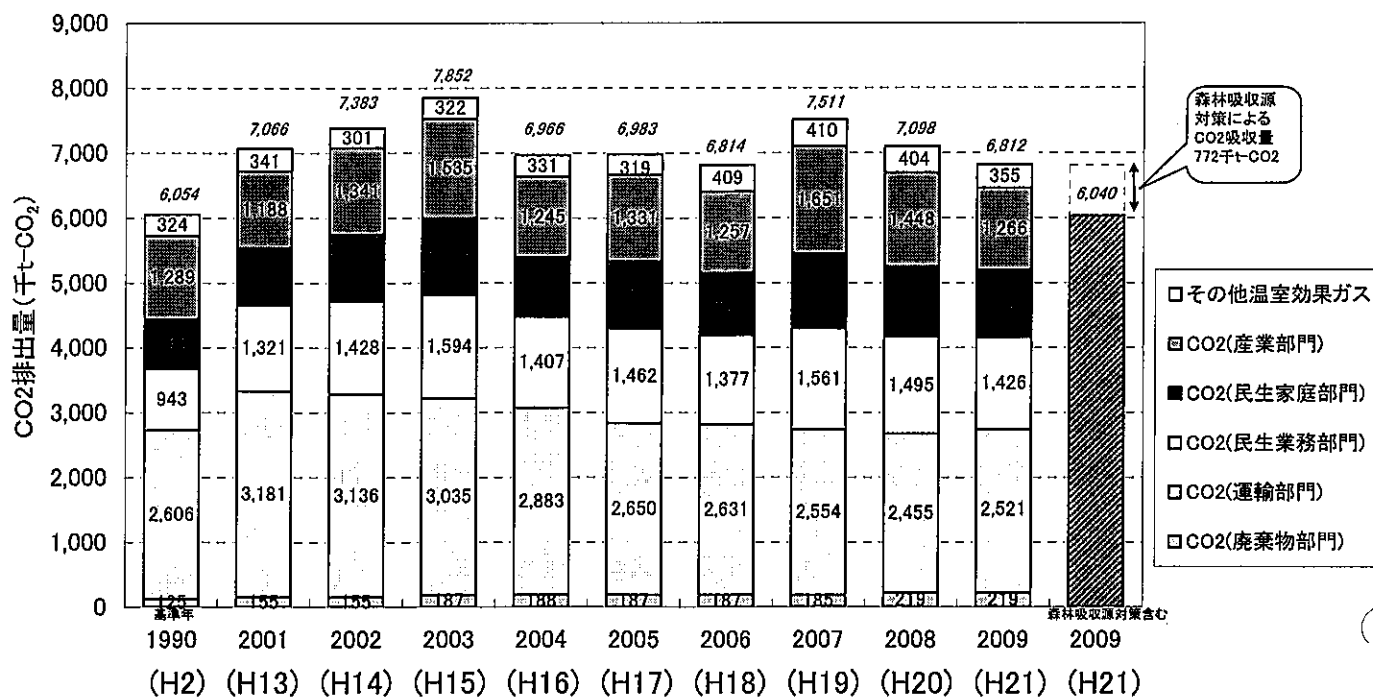
- 総排出量のうち、95%を占める二酸化炭素は、部門別に見ると次のとおり。

(単位：千t-CO<sub>2</sub>、%)

	1990(H2) 基準年	2008 (H20)	2009 (H21)	基準年比	前年度比
産業部門	1,289(482,000)	1,448(419,000)	1,266(388,000)	△1.8(△19.5)	△12.6(△7.3)
民生家庭部門	767(127,000)	1,077(171,000)	1,025(162,000)	33.6(26.9)	△4.8(△5.5)
民生業務部門	943(164,000)	1,495(234,000)	1,426(216,000)	51.2(31.2)	△4.6(△7.8)
運輸部門	2,606(217,000)	2,455(235,000)	2,521(230,000)	△3.3(5.8)	2.7(△2.4)
廃棄物部門	125(22,700)	219(29,000)	219(28,900)	75.2(27.3)	0.0(△0.5)
合計	5,730(1,012,700)	6,694(1,088,000)	6,457(1,024,900)	12.7(1.2)	△3.5(△5.8)

( )内は全国

### 本県の温室効果ガス排出量の推移



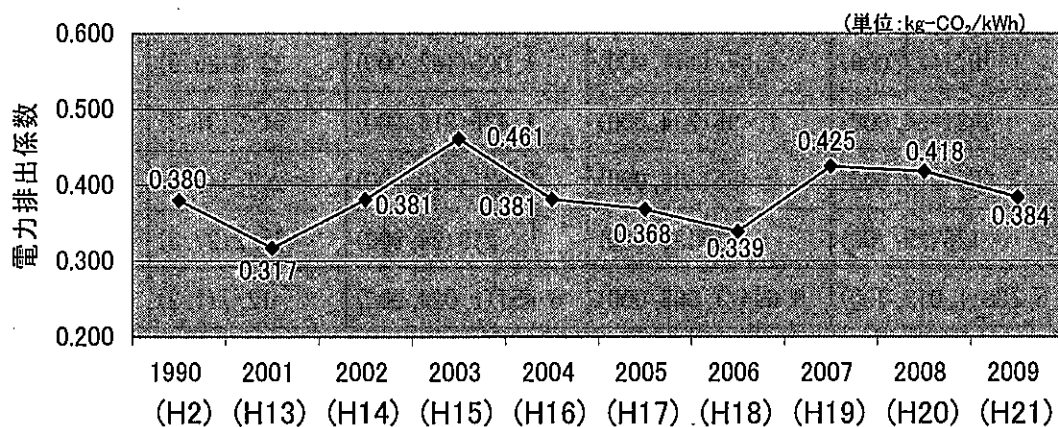
### 本県のエネルギー種類別二酸化炭素排出量

(単位: 千t-CO<sub>2</sub>、%)

エネルギーの種類	1990(H2) 基準年	2008 (H20)	2009 (H21)	基準年比	前年度比
石炭・石炭製品	45	18	18	△ 60.0	0.0
軽質油製品(ガソリン・灯油・軽油)	2,947	2,814	2,873	△ 2.5	2.1
重質油製品	385	359	341	△ 11.4	△ 5.0
石油ガス(LPガス)	320	256	247	△ 22.8	△ 3.5
都市ガス	103	286	286	177.7	0.0
電力	1,790	2,731	2,462	37.5	△ 9.8
熱	15	11	11	△ 26.7	0.0
[廃棄物部門]	125	219	219	75.2	0.0
合計	5,730	6,694	6,457	12.7	△ 3.5

### 【参考データ】

#### 電力排出係数の推移(東京電力株式会社)



## 2009（平成21）年度の二酸化炭素排出量増減の要因について

二酸化炭素の排出量は、645万7千tとなり、対前年度比23万7千t減少（3.5%減）した。

### 1. 産業部門（農林水産業、鉱業、建設業、製造業）

産業部門からの排出量は、126万6千tとなり、対前年度比18万2千t減少（12.6%減）した。

#### 【減少理由】

○全ての業種においてエネルギー使用量が減少したことによる。

電力使用量：3,134,000千kWh（H20）→2,904,000千kWh（H21）（7.3%減）

石油製品使用量：106千kl（H20）→97千kl（H21）（8.5%減）

都市ガス使用量：19,000千m<sup>3</sup>（H20）→18,000千m<sup>3</sup>（H21）（5.3%減）

### 2. 民生家庭部門

民生家庭部門からの排出量は、102万5千tとなり、対前年度比5万2千t減少（4.8%減）した。

#### 【減少理由】

○電力使用量はわずかに増加したものの、電力排出係数の改善により電力消費に伴う排出量が減少したこと、その他エネルギー使用量が減少したことによる。

電力使用量：2,015,000千kWh（H20）→2,027,000千kWh（H21）（0.6%増）

LPG使用量：36千t（H20）→35千t（H21）（2.7%減）

都市ガス使用量：10,000千m<sup>3</sup>（H20）→9,000千m<sup>3</sup>（H21）（10.0%減）

### 3. 民生業務部門

民生業務部門からの排出量は、142万6千tとなり、対前年度比6万9千t減少（4.6%減）した。

#### 【減少理由】

○都市ガスの使用量は増加したものの、その他のエネルギー使用量が減少したこと、電力排出係数の改善により電力消費に伴う排出量が減少したことによる。

都市ガス使用量：98,000千m<sup>3</sup>（H20）→100,000千m<sup>3</sup>（H21）（2.0%増）

電力使用量：2,043,000千kWh（H20）→2,029,000千kWh（H21）（0.7%減）

石油製品使用量：176千kl（H20）→171千kl（H21）（2.8%減）

#### 4. 運輸部門

運輸部門からの排出量は、252万1千tとなり、対前年度比6万6千t増加（2.7%増）した。

##### 【増加理由】

○自家用乗用車及び自家用軽自動車のガソリン使用量が増加したことによる。

自家用軽自動車ガソリン使用量：87,676kl（H20）→94,859kl（H21）（8.2%増）

自家用乗用車ガソリン使用量：506,986kl（H20）→539,571kl（H21）（6.4%増）

#### 5. 廃棄物部門

廃棄物部門からの排出量は、21万9千tとなり、前年度と変わりはない。